

*Luxman*

COMPACT DISC PLAYER

**D-N100**

*Owner's Manual*

このたびは、ラックスマンのCDプレーヤー D-N100をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHKがラジオの本放送を開始した1925年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、80余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が充分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

## 目次

使用上のご注意 .....	3
各部の名称と用途 .....	4
接続方法 .....	8
操作方法 .....	9
規格 .....	10
アフターサービスと品質保証について .....	10
修理に出される前に .....	11

## 設置場所について

外部からの振動が無く、換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

## 再生中は本機を動かさないでください

再生中はディスクが高速回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動する場合は必ずディスクを取り出し、ディスク・トレイを閉じてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると故障の原因になる場合があります。

## 結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

## ディスクの取り扱い方

- ・ 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ・ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ・ ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタル・ディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ・ ディスクを2枚重ねて再生しないでください。

### ■保管

- ・ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ・ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

### ■ディスクのお手入れ

- ・ ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください（円周に沿って拭かないでください）。
- ・ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコード・スプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ・ 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

### ■特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

## ■再生できるディスクの種類について

本機では、コンパクトディスク・マークの付いた音楽専用CDのみ再生することができます。MP3をはじめとする他のフォーマットには対応していません。また、音楽CDをレコーダーやパソコンで記録したCD-Rの場合、アプリケーションの設定やCD-Rの品質によっては再生できない場合があります。

## レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びすることがあります。このような場合は『アフターサービスと品質保証について』（10ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

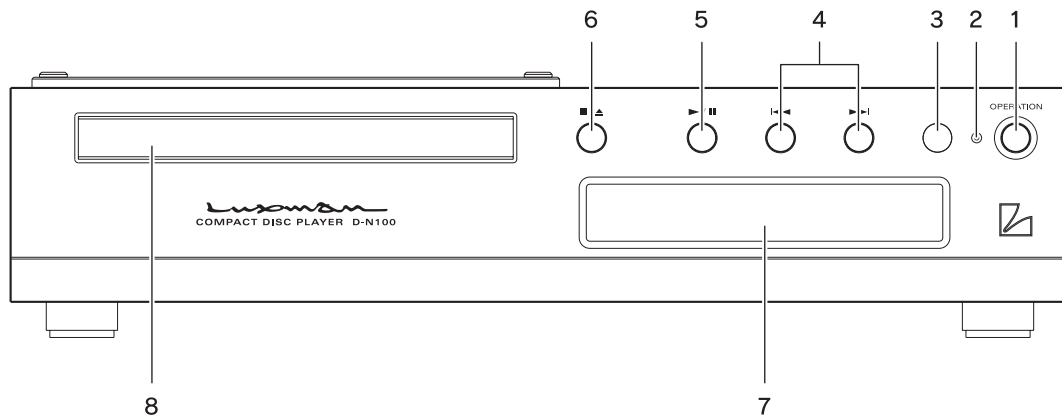
## 修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

## お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニング・クロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

## フロントパネル



### 1. 電源スイッチ (OPERATION)

電源をオン/オフするためのスイッチです。入出力端子の接続時には必ずこのスイッチをオフにしてください。

### 2. 電源インジケータ

リアパネルのメイン電源スイッチをオンにすると、薄い黄色で点灯し、本機がスタンバイ中であることを示します。その状態からさらにフロントパネルの電源スイッチをオンにすると明るい黄色に点灯し、本機が通電状態にあることを示します。

### 3. リモコン受光部 (R)

付属のリモコンからの信号を受信するためのセンサーです。センサーの前はふさがないようにしてください。

### 4. スキップ・ボタン (◀◀、▶▶)

曲単位で前方向、または後ろ方向にスキップをさせるためのボタンです。それぞれの方向のボタンを押した回数分の曲の頭へ進みます。

### 5. プレイ/ポーズ・ボタン (▶/⏸)

再生を開始するためのボタンです。再生中に押すとポーズ (一時停止) 状態となります。

### 6. ストップ/オープン・ボタン (■/▲)

ディスク・トレイの開閉と再生の停止をするためのボタンです。再生の停止中はボタンを押すたびにディスク・トレイが開閉し、再生中はボタンを押すと再生が停止し、もう一度押すとディスク・トレイが開きます。

### 7. ディスプレイ

本機の動作状態、経過/残量時間、その他の機能の状態表示を行います。

### 8. ディスク・トレイ

ディスクを入れるためのトレイです。再生の停止中にストップ/オープン・ボタン (■/▲) を押すことでトレイが開きます。ディスクをセット後にもう一度ストップ/オープン・ボタン (■/▲) を押してトレイを閉めます。



## 9. 電源ボタン (⏻)

電源をオン/オフするためのボタンです。

## 10. ダイレクト選曲ボタン

(1 ~ 9, 0)

直接曲番号を指定して再生するためのボタンです。

10 曲目以降を指定する場合は、まず 10 の位の数字ボタンを押し、2 秒以内に 1 の位の数字ボタンを押ししてください。

(15 曲目を指定して再生する場合: "1"を押し、2 秒以内に"5"を押す)

## 11. ストップ・ボタン (■)

再生を停止するためのボタンです。

## 12. オープン/クローズ・ボタン (▲)

ディスク・トレイの開閉をするためのボタンです。ボタンを押すたびにディスク・トレイが開閉します。

## 13. プレイ/ポーズ・ボタン (▶/⏸)

再生を開始するためのボタンです。再生中に押すとポーズ (一時停止) 状態となります。

## 14. スキップ・ボタン (⏮、⏭)

曲単位で前方向、または後ろ方向にスキップをさせるためのボタンです。それぞれの方向のボタンを押した回数分の曲の頭へ進みます。

## 15. サーチ・ボタン (⏪、⏩)

再生中の曲を早送り、または早戻しするためのボタンです。ボタンを離すと通常の再生に戻ります。

## 16. タイム・ボタン (TIME)

再生中にこのボタンを押すたびに、”再生中の曲の再生経過時間”、”再生中の曲の残り再生時間”、”ディスク全体の残り再生時間”のディスプレイ表示が切り替わります。

## 17. CD ミュート・ボタン (CD MUTE)

本機からの音声出力を一時的に消音するためのボタンです。ミュート中にもう一度押すと消音が解除されます。

なお、ミュートの状態に関わらず、再生中のディスクは再生され続けます。

## 18. スキャン・ボタン (SCAN)

ディスク内の全ての曲をイントロ再生するためのボタンです。ボタンを押すと全ての曲の頭が 10 秒間づつ再生され、最後の曲の頭を再生後に停止します。

## 19. リコール・ボタン (RECALL)

前回再生していた曲を再生するためのボタンです。

## 20. ディスプレイ・ボタン (DISPLAY)

本体ディスプレイの輝度を調節するためのボタンです。ボタンを押すたびに 3 段階の明るさが切り替わります。

## 21. A-B ボタン

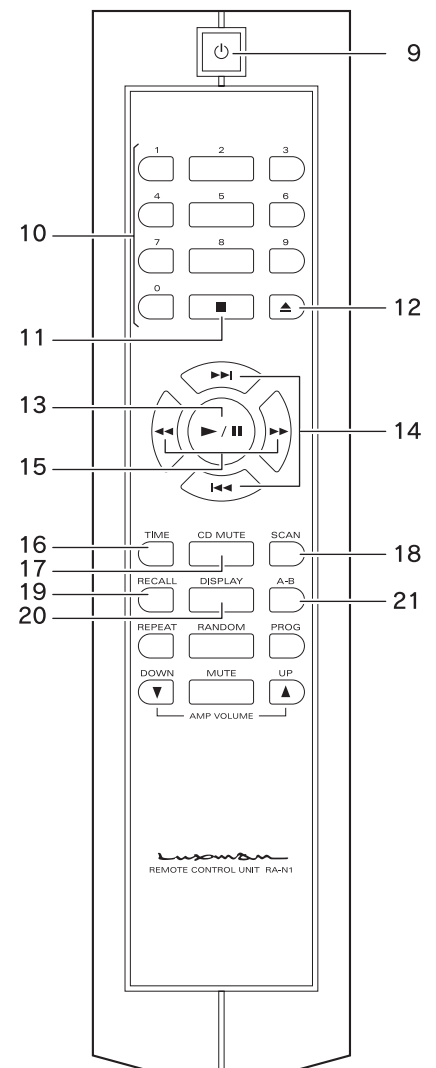
ディスクの特定の範囲を繰り返し再生するためのボタンです。

再生中に繰り返し再生をしたい最初の位置でまずボタンを一度押します。そのまま繰り返しを終えたい位置でもう一度ボタンを押すと、始まりと終わりの位置を指定した範囲で繰り返し再生を開始します。

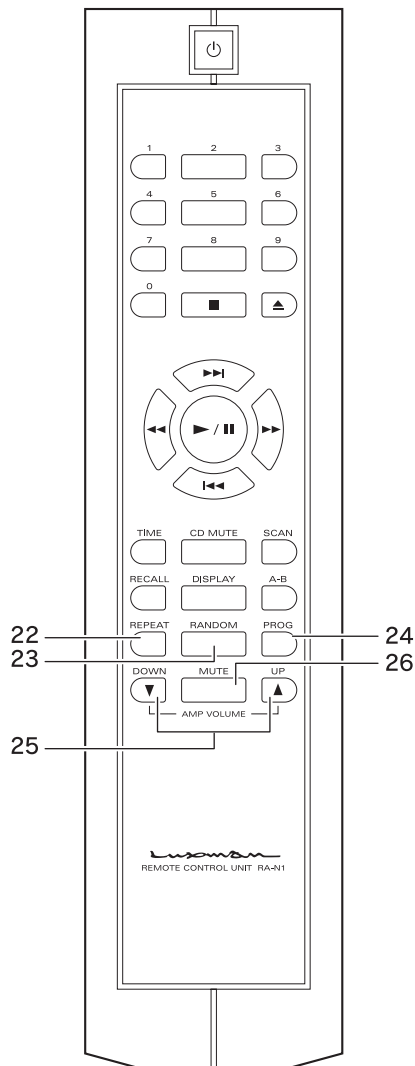
繰り返し再生中、もう一度(3 回目)ボタンを押すと繰り返し再生が取り消され、通常の再生に戻ります。

なお、この機能は再生停止状態では働きません。

## リモートコントローラー(RA-N1)



## リモートコントローラー(RA-N1)



## 22.リピート・ボタン (REPEAT)

特定の曲、またはディスク全体を繰り返し再生するためのボタンです。再生中にボタンを押すと、そのとき再生していた曲を繰り返し再生します。もう一度ボタンを押すとディスク全体を繰り返し再生します。繰り返し再生中、もう一度(3回目)ボタンを押すと繰り返し再生が取り消され、通常の再生に戻ります。なお、この機能は再生停止状態では働きません。

## 23.ランダム・ボタン(RANDOM)

ディスクの中の曲を無作為な順番で再生するためのボタンです。全ての曲の再生が終わると再生を停止します。もう一度ボタンを押すと通常の再生状態に戻ります。

## 24.プログラム・ボタン (PROG)

ディスク中の曲を自分の好きな順序で再生するためのボタンです。詳しい操作方法は9ページを参照してください。

## 25.アンプ・ボリューム・ボタン (AMP VOLUME, UP, DOWN)

対応したアンプの音量を調節するためのボタンです。

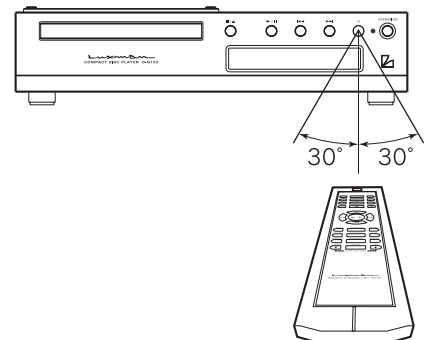
## 26.アンプ・ミュート・ボタン (MUTE)

対応したアンプの音量を一時的に消音するためのボタンです。ミュート状態のときにもう一度押すと解除されます。

リモコンによるアンプの音量調節は2007年5月現在プリメインアンプSQ-N100に対応しています。

## リモコンについて

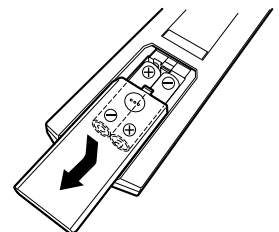
リモコンは、本機のリモコン受光部へ向けて、図の範囲でお使いください。



有効距離 約5m

## 【電池の入れ方】

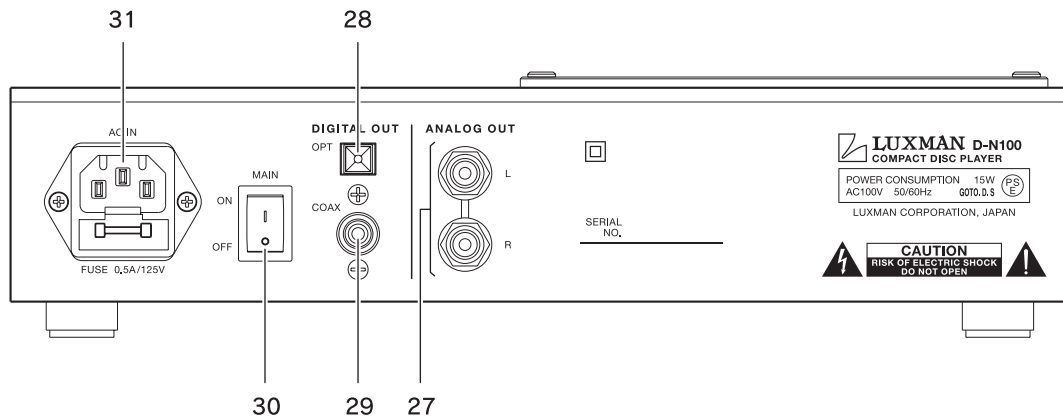
1. リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーのツメに指を乗せて、バッテリー・カバーを下へスライドして開きます。
2. バッテリー・ケースの中の図と同じように電池(単4乾電池)を入れます。
3. バッテリー・カバーを閉じます。



※電池が消耗してくると、有効距離が短くなったり、スイッチを押しても動作しません。このようなときは、電池を新しいものに交換してください。

※長期間リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

## リアパネル



### 27.アナログ出力端子 (ANALOG OUT)

アナログ音声を出力する端子です。

### 28.デジタル(光)出力端子 (DIGITAL OUT, OPT)

光タイプのデジタル音声を出力する端子です。

### 29.デジタル(同軸)出力端子 (DIGITAL OUT, COAX)

同軸タイプのデジタル音声を出力する端子です。

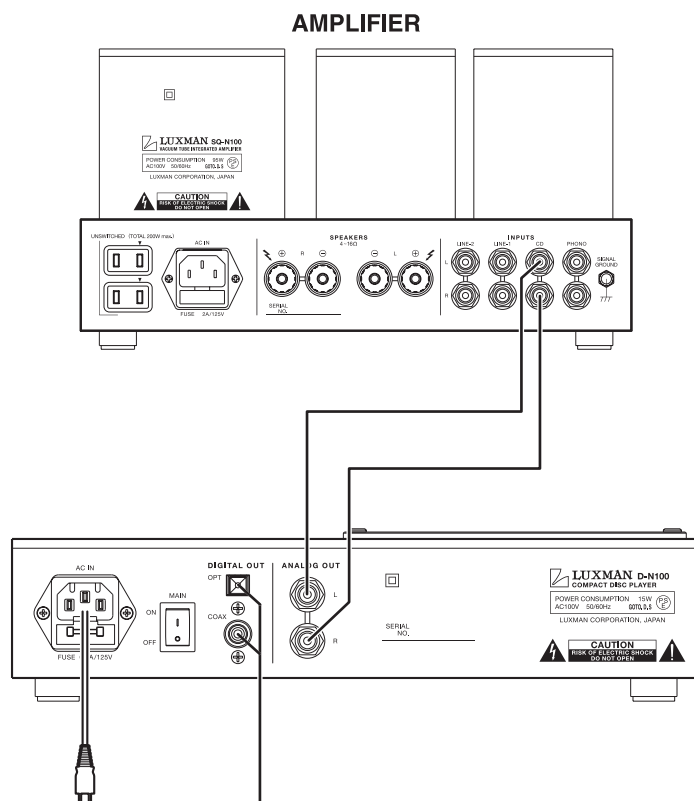
### 30.メイン電源スイッチ (MAIN POWER)

メイン電源をオン/オフするスイッチです。このメイン電源が入っていないときにフロントパネルの電源スイッチを操作することは出来ません。

### 31.AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源はAC100V 家庭用コンセントをご使用ください。

# 接続方法



D/Aコンバーターなどの  
デジタル入力端子へ

## 接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が3つある方）を本機のACインレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源スイッチと併用機器の電源をすべてオフにしてください。

## 電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、ACプラグをリスニングルームなどにあるAC100Vのコンセントに差し込んでください。

## 電源極性の合わせ方

一般家庭用の2極の電源コンセントは一方がアース、もう一方が交流100Vとなっており、電源ケーブルのプラグを正しい向きに差し込んでいただくことで、電源の極性が全ての機器で一致し、より高音質な音楽再生をお楽しみいただくことができます。

本機に付属の電源コードでは、プラグ部に刻印されている文字の上下を合わせて見たとき、右側の端子がアース側となります。

部屋のコンセントのアース側が区別されているとき（差し込み穴が広がっています）は、プラグのアース側がコンセントのアース側になるように差し込んでください。

※ コンセントのアース側が区別されていないときなど、どちらの向きに電源プラグを差し込んでも本機の基本性能には影響ありません。

## アンプへの接続（アナログ出力）

アナログ出力端子をL、R2本のピンプラグ・ケーブルでアンプのライン入力端子（CD、LINEなど）へ接続してください。

接続のときは、左右を間違えないようにしてください。

## アンプへの接続（デジタル出力）

デジタル出力は、それぞれの用途に合ったケーブルでD/Aコンバーターやアンプなどのデジタル入力端子に接続してください。

## 操作する前に

1. 接続が確実に行われているか確認してください。(L, Rの接続の誤りがあると正常な再生ができません。)
2. リアパネルのメイン電源スイッチ (MAIN POWER)をオンにします。
3. フロントパネルの電源スイッチ (OPERATION)をオンにします。  
電源オン/オフ時は、アンプの音量を最小にしてから行ってください。

## コンパクト・ディスク(CD)のセットの仕方

1. オープン/クローズ・ボタン(本体の ■/▲ かりリモコンの ▲) を押してディスク・トレイを開きます。
  2. コンパクト・ディスク (CD) をレーベル面を上にしてトレイに載せます。
  3. オープン/クローズ・ボタンを押してディスク・トレイを閉じます。
- ※コンパクト・ディスク (CD) がセットされると、ディスクの情報が読み取られ、ディスプレイに総曲数と総再生時間が表示されます。

## 通常の再生

ディスクがセットされた後、プレイ/ポーズ・ボタン (▶/||) を押すと、ディスクの1曲目から再生が開始されます。ディスクの最後の曲の再生が終了すると自動的に再生は停止します。

## プログラム再生

リモコンを使って、ディスク中の曲を自分の好きな順序で再生することが出来ます。

1. 停止中にプログラム・ボタン (PROG)を押すと、ディスプレイに“00 P-00”と表示されます。“P”の前の2ケタの数字はこれから選択するトラックを表し、“P”の後ろの2ケタの数字はすでに選択したトラック総数を表します。
2. 数字(1～9、0)ボタンを押して、プログラムしたい曲を選択します。
3. プログラム・ボタン(PROG)を押すと選択した曲と順番を保存し、ディスプレイにプログラムされた数字が表示されます。
4. 別の曲を選ぶためには2～3の作業を繰り返します。合計30曲までプログラムすることができます。
5. プレイ/ポーズ・ボタン (▶/||) を押すとプログラム再生が始まり、編集した曲順に再生されます。
6. 編集中に“0”のボタンを押すと自動的に内容がキャンセルされます。
7. 編集内容を訂正したい場合は、再生の停止状態で、すでに編集したプログラムが表示されるまでプログラム・ボタン(PROG)を必要な回数押してから内容を訂正し、最後にプログラム・ボタン(PROG)を押すと訂正が完了されます。

## その他の再生

通常以外の様々な再生方法については5～6ページの各ボタンの機能説明をご覧ください。

## 規 格

対応ディスク	コンパクトディスク・デジタルオーディオ
量子化ビット数	16ビット
サンプリング周波数	44.1KHz
チャンネル数	2 (ステレオ)
周波数特性	DC～20KHz
全高調波歪率	0.005%以下 (1KHz)
ダイナミックレンジ	95dB以上
S/N比	92dB以上
出力レベル	2V
デジタル出力	光(TOS-LINK)、同軸 (RCA)
プログラム再生	最大30曲
消費電力	15W (電気用品安全法)、0.1W (スタンバイ時)
電源電圧	AC100V (50/60Hz)
付属品	リモコン、電源ケーブル
外形寸法	297W×75H×210 (224) D mm (括弧内は入出力端子、操作ノブ含む)
重量	4.0kg

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

## アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはお求めの販売店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

本機の保証期間は購入日より起算して2年間（ただし、レーザーピックアップや真空管などの消耗品は1年間）です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機の梱包箱内に入っていますので、お買い上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証登録書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

## ラックスマン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-3-1

AG00987C38A

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。</li> <li>・電源プラグがACインレットから外れているか、確実に差し込まれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。</li> <li>・電源プラグをACインレットへ確実に差し込む。</li> </ul>
再生できない、音が飛ぶ、またはディスク・トレイが出てしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクト・ディスクが逆にセットされている。</li> <li>・ディスクがディスク・トレイに正しくセットされていない。</li> <li>・ディスクが汚れている。</li> <li>・本機の内部が結露している。</li> <li>・本機に振動が加わっている。</li> <li>・水平でないところに設置されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクト・ディスクはレーベル面を上にしてトレイに載せる。</li> <li>・ディスクをディスク・トレイに正しくセットする。</li> <li>・ディスクをクリーニングする。</li> <li>・本機の内部の結露を除去する。</li> <li>・本機に振動を加えない。</li> <li>・本機を水平な場所に設置する。</li> </ul>
再生はするが左右チャンネルとも音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CDミュート状態になっている。</li> <li>・アンプのボリュームが最小の位置になっている。</li> <li>・アンプのインプット・セレクターが再生するソースの位置にセットされていない。</li> <li>・接続ケーブルの接続が不完全。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンのCD MUTE ボタンを押してミュートを解除する。</li> <li>・アンプのボリュームを右に回して音量を調節する。</li> <li>・アンプのインプット・セレクターを再生するソースの位置にセットする。</li> <li>・接続ケーブルを確実に接続する。</li> </ul>
片側だけ音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続ケーブルの片側だけが接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続を確実に行なう。</li> </ul>
リモコン操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの仕様範囲外で操作している。</li> <li>・リモコンの電池が消耗している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの使用範囲内で操作する。</li> <li>・リモコンの電池を新しいものと交換する。</li> </ul>

